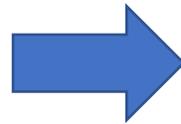


公民館再編

— 地区公民館を「ミニコミセン」に —



公民館の役割

— 公民館は社会教育施設 —

本来的役割：「生きがいきづくり」「健康づくり」

公民館で行われるサークル活動や各種講座での学習を通して、仲間づくりや「健康増進」、地域社会とのつながりを深め、人生を豊かにする自分の「生きがい」を見つける場

※サークル参加者のアンケートで1位：仲間が出来た楽しい 2位：生きがいになっている
3位：健康を維持できている と感じている。

その他役割：地域交流の場、地域活動の拠点、防災拠点、地域課題解決の場

公民館の必要性の高まり

○高齢人口の増加 ⇒ 身近に「生きがいきづくり」「健康づくり」の場が必要

※孤独にならず、豊かな人生を送るため、交流の場・仲間づくりの場が今求められている。

地区公民館活動の課題

稼働率が低い
平均稼働率
14.3%

サークル数が
少ない
平均9.6団体
(2~17団体)

サークル会員数
が減っている
10年間で520人減

活動と施設の
ミスマッチ
体操系サークル
等では手狭

選択肢が少ない
身近な公民館では
団体数が少ない

活動が縮小傾向 ⇒ 必要性の高まりに対応できない。

公民館統合の必要性

○公民館の活性化のため

①「生きがいづくり」「健康づくり」の場として機能強化が必要

身近に「活発な活動がある場」

「人の交流がある場」

の必要性の高まりに対応するため。

②中央公民館利用者の分散化が必要

サークル活動が中央公民館に集中し、取り合いとなっている。

身近に同機能の施設があれば、分散できる。

※抽選を実施し利用調整を図っている。

③施設の中規模化が必要

いろいろな「サークルのニーズ」に答えるため中規模（ミニコミセン）な公民館が必要

現状数を維持するのは無理

○施設管理の限界

①厳しい財政予測

人口減少と少子高齢化により、厳しい財政状況が予測される。

【人口推計】 生産年齢：15～64歳 老年人口：65歳以上

	令和7年	割合	令和22年	割合	減少数
人口	43,244		35,327		△7,914
生産年齢	21,946	50.7%	16,077	45.5%	△5,869
老年人口	17,681	40.9%	16,868	47.7%	△813

➡ 納税者の減少により市税収入の減
後期高齢者増予想により社会保障費(医療費・介護等)増

【財政推計】 令和4年長期財政推計より 単位：億円

	R7	R8	R9	R10	R11	R12
歳入	179.0	178.6	178.4	174.4	174.1	172.9
歳出	178.1	178.3	178.6	180.0	180.2	178.4
財政調整基金	6.8	4.3	0	0	0	0
形式収支額	0.9	0.3	△0.2	△5.6	△6.1	△5.5

②施設の老朽化・施設管理費の負担

建築から約50年経っている施設がほとんど、大規模改修には多額の費用が必要となる。

【年間維持費】 光熱水費：約210万円・修繕費：約260万円
人件費：約1900万円 合計2400万円

統合にあたって・・・

複合施設化

「コミュニティセンター(ミニ)化」する事が良い！！

※大きな施設(例：空学校)に、いくつかの利用主体が同居するスタイル。(公民館は施設の一部利用)

コミュニティセンター(ミニ)化の効果 ー地区公民館の統合ー

①サークル活動参加者・参加機会の確保・増加

中央公民館より近くに中規模の活動拠点ができる事で、地域拠点でのサークル数・会員数の増が期待できる。⇒ 身近での選択肢が広がり、活動に参加する機会・意欲の増加が期待できる。

②施設規模の拡大により、サークルが利用したい施設が増加する。

今までは部屋の広さ等で利用が難しかったが、使える部屋(体育館)が増えれば、利用機会の増加が期待できる。⇒ サークル活動の活性化が期待できる。

③中央公民館への集中が分散され、中央公民館の使い勝手も向上する。

④他の利用主体との同居により、新たな交流が生まれる。

今まで機会がなかった人たちにもサークル等の活動を知る機会が訪れ、サークル等への参加が身近なものとなり、若い世代等これまでにない年齢層の参加も期待できる。



結果・・・ 地域の活性化につながる！！

【先進事例】

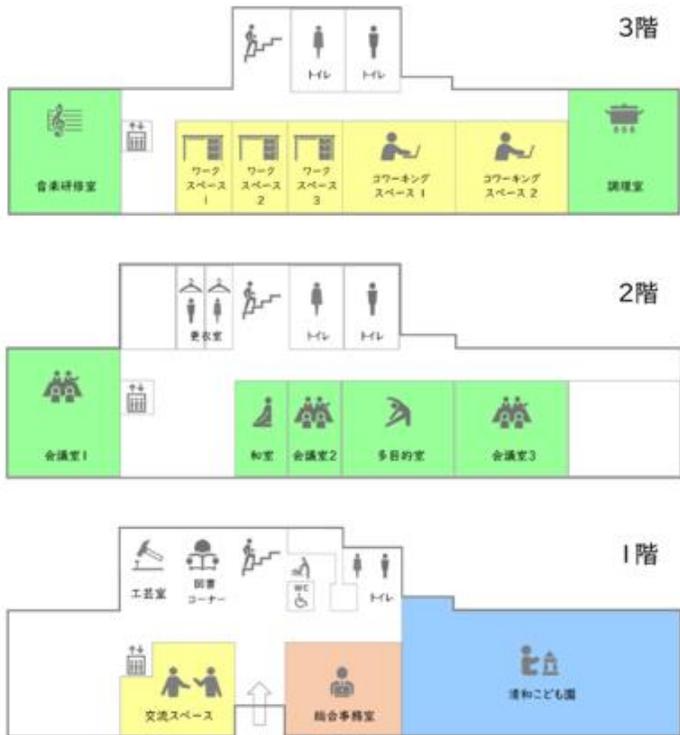
「複合施設」とは

公共施設の複合施設とは、異なる種類の公共施設や民間施設を一つの建物や敷地内に集約・統合した施設を指します。例えば、図書館と公民館、スポーツ施設と文化施設などが一つの建物に併設されている場合などが考えられます。

施設紹介

清和地域拠点複合施設「おらがわ」

君津市では、2024年1月に旧小学校校舎を利活用した「清和地域拠点複合施設(愛称：おらがわ)」がオープンしました。当施設は、「人が集いにぎわいが生まれる地域の拠点として、清和地域市民センター・清和公民館・清和こども園・清和地域活性化センターを複合整備したものです。多様な人々が活動・交流することにより、地域の活性化、持続可能な地域づくりを目指しています。



せいわベーズ (コワーキングスペース)



1階清和地域市民センター 窓口カウンター



1階市立こども園

清和地域拠点複合施設「おらがわ」とは？

清和地域拠点複合施設(愛称：おらがわ)は、清和地域市民センター・清和地域活性化センター・清和公民館・清和こども園の4つの施設が一つの建物に複合化された施設です。「人が集い、にぎわいが生まれる地域の拠点」として、多様な人々が活動・交流することにより地域の活性化、持続可能な地域づくりを目指しています。

清和地域
市民
センター

清和地域
活性化
センター

清和
公民館

清和
こども園

公民館再編検討の流れ

①「館山市公共施設等総合管理計画」策定 平成29年6月策定 令和4年12月見直し

建設から30年以上経過した施設が約8割し建替え・大規模改修に多額費用必要、人口減少・少子高齢化により厳しい財政状況が予測される。



【公共施設全体の方針】

公共施設の選択と集中を行い、予測される人口減少に合わせ、延床面積を20%以上削減を目標とする。

○基本方針

公共施設の統廃合

公共施設の機能複合化

民間や地域(市民)活力の導入

【地区公民館の方針】

他施設との機能複合化や地元自治体等による自主運営(所有権移転～管理運営権の移譲)の是非について、地域の皆さんとともに検討する。

②公民館再編に向けた今後の公民館のあり方について (諮問) 令和5年7月25日諮問 3月21日答申

諮問先：館山市公民館運営審議会・答申検討委員会

○答申内容：学校再編や他の公共施設と同様に、公民館においても再編はやむを得ない。

- ・小中学校再編による校舎等の有効活用や民間施設・未利用施設の活用等幅広い視野で
- ・地域の人口動向や特性に応じた施設の集約・施設の複合利用等の適正利用を
- ・財政負担の軽減を

公民館再編検討の流れ

③館山市地区公民館再編計画策定委員会 令和6年6月1日設置

内容：上記の方針・答申を受けて、約2年間をかけて地区公民館の再編について検討する。

○会議 令和6年6月～令和7年5月 6回開催 ⇒ 地区公民館再編の素案を策定

○令和7年度の動き・予定

- ①令和7年5月12日 市議会全員協議会説明（たたき台・方向性）
- ②令和7年5月13日 町内会連協理事会説明（たたき台・方向性）
- ③令和7年5月28日 再編委員会（素案作成）
- ④令和7年6月～8月 地域との意見交換会（町内会役員・利用者等）
- ⑤令和7年9月 再編委員会 原案作成
- ⑥令和7年11月 原案完成
- ⑦令和7年12月 パブリックコメント
- ⑧令和8年1月 計画完成
- ⑨令和8年3月 一般公開

公民館今後のあり方についてアンケート結果

公民館再編に向けた今後の公民館のあり方についての中で実施 令和5年度実施

○利用者アンケート調査実施

対象：各公民館登録サークル会員（3,691人）

回答数1,560人

	男	女	無回答	計
調査の回答者	25.3%	70.7%	4.0%	100%

	10代	20～30代	40～50代	60代	70代以上	無回答	計
調査の回答者	1.2%	1.1%	4.2%	15.1%	74.7%	3.8%	100%

・参加目的・きっかけ

目的：活動に興味あり。人との交流・仲間づくり。健康に良い。 **きっかけ：**友人知人に誘われて。

・活動の課題

会員が減少している。活動がマンネリ化している。施設に必要な設備がない。他団体と交流がない。

・公民館への交通手段・所要時間・距離をどう感じるか。

交通手段：自家用車（66%）,徒歩(10%) ,自転車（7%） **移動時間：**15分程度(50%),5分程度(25%)

時間・距離の感じ：特に気になっていない。(59%)、近く感じている（22%）

素案の方向性

- ①市内をブロック分けし、ブロック内で再配置を検討する。
- ②学校再編での空き学校(空き教室)を活用し複合施設とし、その一部に公民館機能を移転する。
令和8年度：船形小学校 令和9年度：西岬・豊房・館野・九重小学校
イメージ：ミニ(地区)コミュニティセンター
※公民館機能・防災機能・児童関連機能・社会福祉機能・民間への貸出(貸事務所等)
- ③公民館利用のフリー・共通化（誰がどこの公民館を利用しても良い。）
- ④廃止公民館は地元で自主運営（所有権移転を含む）する。（地元で希望があれば）
イメージ：地域の集会所の位置づけ
地区連合町内会、地元町内会（単独・複数の町内会）
- ⑤再編で空き学校となる学校等に合わせたスケジュールを作成する。